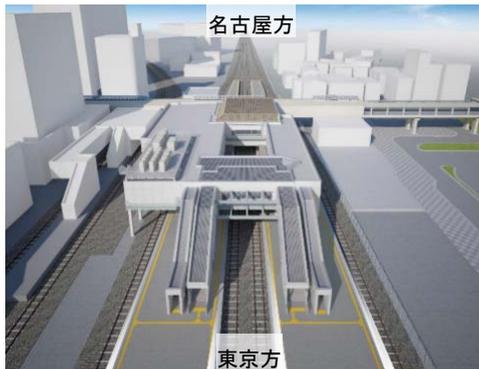


東海道本線 刈谷駅の改良について
～ホームの幅を拡げ、可動柵を設置します～

当社は、これまでも、お客様が安全、快適に駅をご利用いただけるように、設備の改良を進めてきております。その中で、お客様のご利用が増加している刈谷駅について、今後も安全かつ快適にご利用いただくために、刈谷市と同駅の改良について協議を進めてきましたが、このたび協議がまとまり、ホームの拡幅、可動柵の設置等を行うことが決まりましたので、お知らせします。



改良後の刈谷駅イメージ



可動柵設置のイメージ（写真は金山駅の試作機）

1. ホームの改良（別紙）

- ・下り線と上り線の2つのホームの幅をそれぞれ約6.2m拡げることで、下りホームの幅を約12.6m、上りホームの幅を約13.3mにします。
- ・これに伴い、全ての番線（1～4番線）に、全ての列車のドア位置に対応可能な可動柵を設置します。

2. コンコース等の改良（別紙）

- ・コンコースの拡張
コンコースの面積を約1.5倍に拡張します。
- ・改札の通路の増設
自動改札を2通路増設し11通路とします。
- ・エスカレーターの増設
エスカレーターを上下ホームに各1基増設し、各ホーム3基とします。
- ・その他
刈谷市が運営する地域交流拠点施設等を新設します。
地平駅舎を橋上に移転します。

3. スケジュール

- ・ホームの拡幅 下りホーム：2022年度 上りホーム：2024年度
- ・可動柵の設置 下りホーム：2025年度 上りホーム：2026年度
- ・コンコース等の改良 2026年度までに工事完了

4. 工事費

93.3億円（当社負担額38.4億円）

ホーム・コンコース等の改良

- ホーム拡幅 ()
- ホーム可動柵設置 ()
- コンコース等改良 ()
- 地平駅舎橋上化 ()



4線に新設するホーム可動柵(イメージ)

